

## ◎ 同好会だより

### ★園芸同好会「花ともだち」

3月の総会以来初めての行事、南牧村の矢出川公園自然観察会を、5月18日に行いました。参加は15名。

ふるさと倶楽部会員で自然観察員の〇〇〇〇さんの案内で、隣接する筑波大学演習林(恵みの森)もと嬉しい欲張りコースでした。野辺山の高原なので季節が後戻り、スプリングエフェメラルと呼ばれる早春の花々がいっぱい、気をつけないと踏んでしまいそうなくらいでした。途中、サクラソウとニリンソウの広い群落の辺りはそれは美しかったです。これはミツバツチグリ、これはキジムシロ…。これはスミレ、これはサクラスミレ、これはチシオスミレ…。その違いや見分け方などを伺いつつ、好天の下、楽しい半日でした。今後6月には種苗交換会、7月には小物作りなど予定しています。(〇〇〇〇)



### ★週末縄文人の会「梅之木だより(7月号)」

梅之木遺跡公園整備計画はこれまでに建設された5棟の建造物だけで新たな住居建設の予定はなく、今後は縄文住居の維持管理作業が中心となります。そこで、縄文文化のことをより深く探求し、八ヶ岳山麓で栄えた縄文文化を多くの人にも知ってもらいたいと考え、「縄文住居をつくる会」から「週末縄文人の会」と名前を変えて4月から再出発しました。その第一弾として、「縄文考古学連続講座」を毎週土曜日に開催し、同好会会員だけでなく他のふるさと倶楽部会員、一般の市民の方たちを含めて毎回40人ほどが参加しています。「そのうち減っていくだろう」と思っていたのですが、毎回参加人数が減ることもなく、参加しているメンバーの知識欲の高さに驚かされます。山梨大学教養課程での講義を佐野さんが分かり易く説明していただくからばかりでなく、縄文というロマンがどこか私たちの心を引き付けるのかもしれない。(〇〇〇〇)



### ★ふるさとスモモ畑の会

今年の春はスモモ畑にも足早にやって来た。3月20日頃開花し始めたと思ったら1週間で満開になり、雨の合間をぬって1回だけ受粉作業を行い、去年はコロナで断念したお花見も何とかやる事ができた。

この原稿を書いている今はビー玉程の大きさ、そして会報が出る頃には、真っ赤に熟した実が収穫の時期を迎えていることだろう。

20年前「里山の景観を守るために力を貸して下さい」と呼びかけて始めたスモモ畑だが、耕作放棄地の問題は年々深刻になってきているような気がする。スモモ畑が今、美しい緑を保って何とか収穫も望める状況なのは、やはりふるさと倶楽部の力があってこそと思う。仲間がいて人の輪がつながり、個人では難しいことも何とか出来ている。

果樹栽培を覚えたい方、仲間と一緒に作業をしたい方、ぜひスモモ畑に足を運んで下さい。(〇〇〇〇)



### ★第53回映画を楽しむ会の開催(お知らせ)

上映作品:『湯を沸かすほどの熱い愛』

(125分、2016年公開、監督・脚本、中野量太)

パン屋でアルバイト中の主婦が余命数ヶ月の末期ガンを宣告され、「夫の失踪とともに休業していた銭湯の再開」など生きている間にやるべき事柄を書き出し、これらを確実に力強く成し遂げていく母親を宮沢りえが好演している。タイトルでもお分かりのように多少のユーモアとストーリーの意外性を織り交ぜながら、「家族とは?何」を考えるキッカケになるかも…。



日時:7月27日(木)午後1時30分開会

会場:日野春学会「談話室」

参加料:無料(飲み物などは各自ご持参ください)

申込:7月10日(月)午後5時までにお願いします。

問合せ:〇〇〇〇 (〇〇〇〇)、〇〇〇〇(〇〇〇〇)、  
〇〇〇〇(〇〇〇〇〇〇)、〇〇〇〇(〇〇〇〇〇〇)

八ヶ岳ふるさと倶楽部ホームページ

<http://8furusato.hiho.jp>

✉ [member@8furusato.hiho.jp](mailto:member@8furusato.hiho.jp)

行事申し込みや会報はパスワード無しでご利用いただけます

